パワーアンプ

DCi Series Analog

DCi 2|300, DCi 2|600, DCi 2|1250
DCi 4|300, DCi 4|600, DCi 4|1250
DCi 8|300, DCi 8|600

取扱説明書

お買い上げいただき、誠にありがとうございます。
安全に正しくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。
この取扱説明書は、お読みになった後も、いつでも見られるところに保管してください。

2014年7月版

■ 安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の方への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

⚠ 警告

■ 必ずAC100V（50Hz/60Hz）の電源で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。

■ 必ず専用の電源ケーブルを使用してください。これ以外の物を使用すると火災の原因となり危険です。また、同梱された電源ケーブルは、他の機器には使用しないでください。

■ 電源ケーブルの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。ケーブルが破損して火災や感電の原因となります。

■ 確実にアース接続をしてください。また、アース線の脱着は電源を外してから行ってください。感電の原因となります。

■ 濡れた手で、電源ケーブルや他の機器との接続ケーブルの抜き差しをしないでください。感電の原因となります。

■ 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は、内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となり危険です。

■ 煙がでる、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常が起きたときは、ただちに電源を外し修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。

⚠ 注意

■ 必要な電流容量を安全に供給できるよう、適切な電源回路を用意してください。

■ 機器の重量に耐える強度を持った安定した場所に設置してください。また、ラックに設置する際は、前面パネルだけでなく背面パネルも固定してください。落下によるけがや故障の原因となります。

■ 以下のような場所には設置しないでください。火災や故障の原因となります。

・直射日光のあたる場所
・極度の低温または高温の場所
・湿気の多い場所
・ほこりの多い場所
・振動の多い場所

■ 通気性の良い場所に設置し、機器の吸気口や排気口は絶対に塞がないでください。熱がこもって、火災や故障の原因となります。

■ 機器の移動は、電源ケーブルや他の機器との接続ケーブルを全て外した上で行ってください。けがやケーブル破損の原因となります。

■ 他の機器との接続は、機器の電源を全て切ってから行ってください。また、電源を入れたり切ったりする前に、各機器の音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害や機器の破損の原因となります。

■ スピーカーの破損を防ぐため、電源を入れるときは一番最後にこの機器の電源を入れてください。また、電源を切るときは一番最初に電源を切ってください。

■ 出力の配線は、電源を切ってから10秒以上たった後で行ってください。また、出力ケーブルがシャーシや他のケーブルとショートしないよう十分注意してください。感電や故障の原因となります。

■ 大きな音量に連続してさらされると、聴覚障害の原因となります。音量の設定は慎重に行ってください。

■ 長時間使用しないとき、または落雷の恐れがあるときは、電源ケーブルを取り外してください。火災や感電、故障の原因となります。

■ 目次

安全上のご注意 **02**
目次 **03**
主な特長 **04**
梱包内容の確認 **04**
ラックに設置する際の注意点 **04**
入出力端子の接続について **05**
入力端子の配線 05
出力端子の配線 05
各部の名称と機能 **06**
前面パネル 06
背面パネル 07
設定 **09**
グローバル設定 09
チャンネル設定 10
待機時の消費電力を抑える（SLEEP モード） 10
接続例 **11**
ロー・インピーダンス接続（デュアルモード） 11
ロー・インピーダンス接続（ブリッジモノモード） 12
ハイ・インピーダンス接続（デュアルモード） 12
ハイ・インピーダンス接続（ブリッジモノモード） 13
トラブルシューティング **14**
仕様 **16**

■ 主な特長

多系統の音響出力回線が必要な設備で、パワーアンプの設置スペースを削減します。

- それぞれのチャンネルは独立してロー・インピーダンス接続とハイ・インピーダンス接続を切り替え可能。ハイ・インピーダンス接続時には、35Hz のハイパス・フィルターが自動的に挿入されます。
- ハイ・インピーダンス接続時には定電圧伝送ラインを直接駆動できるので、外付けトランスも不要です。出力電圧は 70V と 100V から選択できます。
- ブリッジモノ出力にも対応しているので、より大きな出力を取り出すこともできます。

消費電力を抑え、運用時の電気代を節約します。

- 増幅部は高効率なクラス D 動作を採用。電源部はスイッチング電源と力率改善（PFC）回路を搭載し、クラストップレベルの低消費電力を実現しています。また、発熱が低いため、冷却のための空調の電気代も削減できます。
- 待機時の消費電力を 1W 以下に抑える Auto Standby 機能も装備。無信号状態が 30 分以上続くと自動的に待機モードに移行します。外部接点で強制的に待機状態にすることも可能です。

信号処理の心臓部に独自開発の集積回路 “DriveCore” を採用し、信頼性と音質が向上しています。

- DriveCore は、高精度のクロックやパルス幅変調、誤差増幅、フィードバックなどの機能を 1 チップに集積。自社従来製品より使用パーツ数を 500 以上も削減し、長期使用における信頼性が向上しました。
- 優れた過渡特性、小出力時の細部の正確さ、大出力時の低域の精密な追従性を実現。SN 比は 108dB 以上を達成し、優れた音質を提供します。

その他、音響設備の運用に便利な機能を搭載

- 突発的なトラブルからアンプやスピーカーを守る各種保護回路を搭載。前面パネルのインジケーターで動作状況を詳細に確認できます。
- 離れた場所から正常動作を確認するためのステータス信号を、背面パネルから出力します。
- 入力には 21 段階のアッテネーターを搭載しています。
- 本体内部を効果的に冷却する可変速空冷ファンを搭載しています。

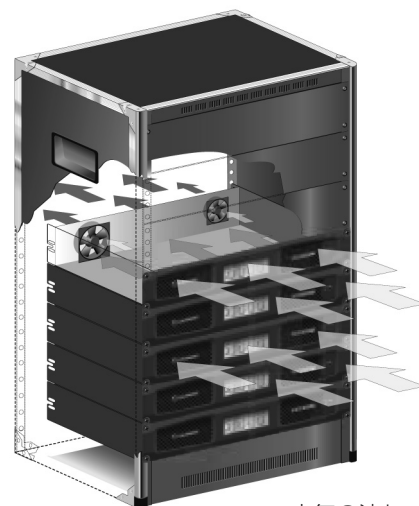
■ 梱包内容の確認

パッケージに次の物が入っていることを確認してください。

- 本体
- 電源ケーブル
- コネクター（入力端子用ユーロブロック、出力端子用スペードプラグ）
- ラックサポート金具とねじ
- 英文取扱説明書、和文取扱説明書（本書）
- 保証書

■ ラックに設置する際の注意点

ラックに設置する際は、上下にスペースを空けずに設置してください。空いているスペースは、ブランクパネルを使用して塞いでください。空いているスペースがあると、熱い空気が逆流するおそれがあり、効率的な空冷の妨げとなります。アンプの前面と背面は通気のため塞がないでください。

ラックの側面はアンプから 5.1cm 以上、アンプの背面は 10.2cm 以上、スペースを空けて設置してください。

空気の流れ

■ 入出力端子の接続について

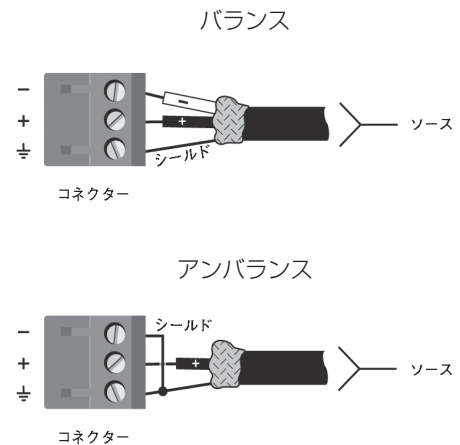
▶ 入力端子の配線

本機の入力には、2 芯シールドケーブル（業務用バランスケーブル）を推奨します。アンバランスケーブルは長く引き伸ばした際にノイズを誘導する可能性があります。

付属の 6 ピン･ユーロブロック（オス）コネクターを図のように配線し、入力端子と接続してください。

バランス

−
+
シールド
ソース
コネクター

アンバランス

▶ 出力端子の配線

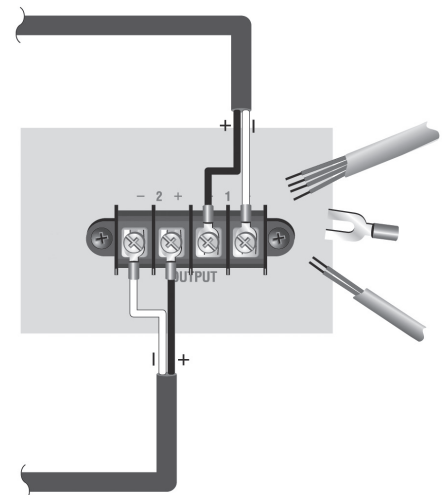
※出力端子のカバーは、接続時に取り外す必要はありません。

本機の出力には、付属のスペードプラグ（Y ラグ）と、2 芯または 4 芯のスピーカーケーブルを推奨します。他にも 10AWG までのスピーカーケーブル、または、すずメッキ加工した裸線を使用できます。

スピーカーケーブル同士の接触によるショートを防ぐため、コネクターやケーブルの露出部分は絶縁してください。

ラックマウント時は、ケーブルや端子部分に負担がかからないように、なるべく束線バーなどを使用してケーブルを固定してください。

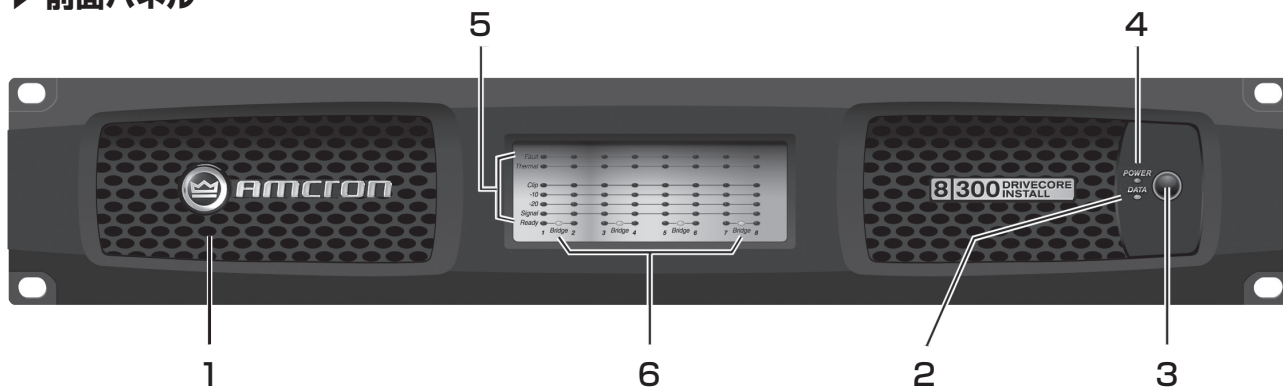
ロー・インピーダンス接続の場合は、下記の表を参考に本機とスピーカーの距離に合わせて適切なサイズのケーブルをご使用ください。

距離	ケーブルサイズ
7.6 m以下	16AWG
～ 12.2 m以下	14AWG
～ 18.3 m以下	12AWG
18.3 m以上	10AWG

注意

- 出力にはシールドされたケーブルを使用しないでください。
- コネクターやケーブルの露出部分がシャーシに接触しないよう注意してください。故障の原因となります。

■ 各部の名称と機能

※ DCi 8|300 について記載していますが、他のモデルも同様です。

▶ 前面パネル

1.　通気口

本機を冷却するための空気の吸い込み口です。絶対にふさがないでください。

2.　DATA インジケーター

本機では使用しません。

3.　POWER スイッチと POWER スイッチ LED

電源の ON/OFF スイッチです。

POWER スイッチ LED は、本機の電源が OFF でも、電源が供給されていると緑色に点灯します。

4.　POWER インジケーター

電源が ON になると青色に点灯します。

動作中に電源電圧レベルが通常の動作範囲から± 10%以上外れると、インジケーターが点滅し、本機への電源供給を停止します。安全に動作できるレベルに電源電圧が戻ると通常動作に復帰します。また、外部接点を利用した SLEEP モード時に POWER スイッチを押すと、4 秒間点滅します。SLEEP モードの詳細は、P.10「待機時の消費電力を抑える」を参照してください。

5.　インジケーター

動作状態を表示するインジケーターです。チャンネルごとに状態を表示します。

- FAULT インジケーター（赤色）: 内部、外部の要因に関わらず本機が安全に動作できない状態を検知すると、チャンネルが動作停止し、FAULT インジケーターが点滅します。FAULT インジケーターが点滅したら、まず本機と外部機器の接続に誤りがないかを確認してください。誤りがない場合は、購入した販売店にお問い合わせください。
- THERMAL インジケーター（赤色）: 内部の温度が 80℃に達すると点灯します。この時点でアンプを故障から守るために信号のコンプレッションを開始します。この状態で動作は継続しますが、温度が上がり続け 98℃に達すると、本機を故障から守るため、過剰な熱を発生しているチャンネルをシャットダウンします。

・CLIP インジケーター（赤色）：以下の場合に点灯します。

- 入力段で信号がクリップしたとき
- 出力段で信号がクリップしたとき
- TLC（Thermal Level Control：温度レベル制御）保護回路が作動したとき

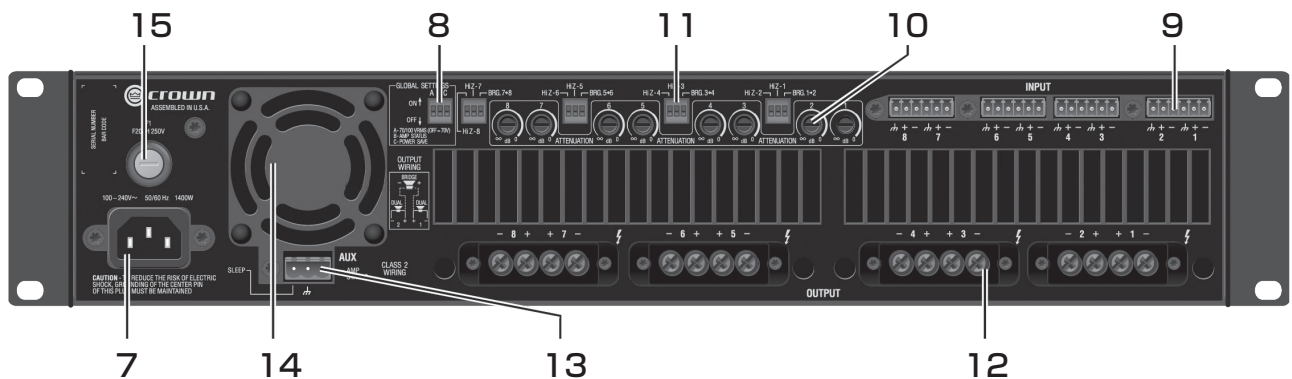
・－ 10/ － 20/SIGNAL インジケーター（緑色）：信号の有無とレベルを以下のように表示します。

- － 10：定格出力の－ 10dB 下のレベルを信号が超えると緑色に点灯します。
- － 20：定格出力の－ 20dB 下のレベルを信号が超えると緑色に点灯します。
- SIGNAL：－ 40dBu 以上の入力信号を検知すると緑色に点灯します。

・READY インジケーター（緑色）：信号が出力可能な状態になると緑色に点灯します。

6.　BRIDGE インジケーター

ブリッジモノモードに設定したチャンネルペアが黄色に点灯します。詳細は P.10「チャンネル設定」を参照してください。

▶ 背面パネル

7.　電源端子

付属の電源ケーブルを接続する端子です。

8.　グローバル設定 DIP スイッチ

本機全体に共通する設定を行う DIP スイッチです。ハイ・インピーダンス接続モード時の出力電圧の選択、AMP STATUS 信号の種類の選択、POWER SAVE（AUTO STANDBY 機能）の ON/OFF の設定をします。詳細は、P.09「グローバル設定」を参照してください。

9.　入力端子

ミキサー等を接続し､信号を入力する端子です。6 ピン･プラグイン端子。バランス仕様。詳細は､P.05｢入力端子の配線｣を参照してください。

10. アッテネーションつまみ

入力信号のアッテネーションを調整するつまみです。21 段階、− 95dB 〜 0dB の範囲で調整可能です。つまみの回転にはマイナスドライバーを使用してください。

11. チャンネル設定 DIP スイッチ

チャンネルごとの設定を行う DIP スイッチです。ロー / ハイ・インピーダンス接続モードの選択、ブリッジモノモードの ON/OFF の設定をします。スイッチはチャンネルペアごとに搭載されています。詳細は、P.10「チャンネル設定」を参照してください。

12. 出力端子

スピーカーを接続する端子です。チャンネルペアごとのねじ止め端子です。詳しくは P.05「出力端子の配線」を参照してください。

13. AUX 端子

3 ピン・ユーロブロック端子。

右のピンは AMP STATUS 信号を出力します。5VDC、0.9mA。AMP STATUS の詳細は、P.09「グローバル設定」を参照してください。

左のピンは外部接点により強制的に SLEEP モードにするために使用します。SLEEP モードの詳細は、P.10「待機時の消費電力を抑える」を参照してください。

14. 冷却ファン

低ノイズ、可変速ファンです。空気を前面パネルの通気口から背面へ送り、本機を効率的に冷却します。

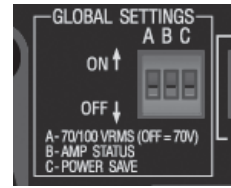
15. ヒューズ

過大電流から回路を保護するヒューズです。交換には LittelFuse 314 シリーズ、20A/250V を使用してください。

※ DCi 4|1250、DCi 8|600 にはヒューズではなくブレーカーを搭載しています。

■ 設定

▶ グローバル設定

本機全体に共通する設定を行います。A ～ C のスイッチは上げると ON、下げると OFF に設定されます。

スイッチ A：ハイ・インピーダンス接続モード時の出力電圧の選択

ハイ・インピーダンス接続モード時の出力電圧を 70V と 100V から選択します。スイッチを OFF にすると 70V、ON にすると 100V に設定します。この設定は、ハイ・インピーダンス接続モードに設定したすべてのチャンネルに適用されます。また、どちらの出力電圧を選択しても、電圧リミッター回路が働きます。

MEMO

- ブリッジモノモードのチャンネルをハイ・インピーダンス接続モードにすると、出力電圧が倍の 140V または 200V になります。

スイッチ B：AMP STATUS 信号の選択

AMP STATUS は、アンプの過熱や異常を知らせる機能です。AUX PORT の右の端子は AMP STATUS 端子です。通常稼動時は電圧が発生しますが、過熱や異常が検知された場合は電圧の発生を停止します。DIP スイッチの ON/OFF の設定で 2 種類の動作を選択できます。AMP STATUS 端子の電圧の発生自体を停止することはできません。

AUX 端子の出力：5VDC、0.9mA。

- ON：2Hz のパルス信号を出力します。
- OFF：連続した直流電圧を出力します。

※電源 OFF 時、SLEEP モード時、FAULT インジケーター点灯時は、AMP STATUS 信号を出力しません。

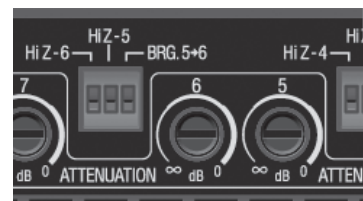
スイッチ C：POWER SAVE（AUTO STANDBY 機能）の ON/OFF

AUTO STANDBY 機能の ON/OFF を行います。ON にすると、３０分以上入力信号がない場合に自動的に SLEEP モードにし、消費電力を 1W 以下に抑えます。− 40dBu 以上の入力信号を検知すると、通常動作に復帰します。復帰には４～５秒を要します。SLEEP モードについては P.10「待機時の消費電力を抑える」も参照してください。

▶ チャンネル設定

チャンネルごとの設定を行います。

Hi-Z スイッチ（ロー / ハイ・インピーダンス接続モードの選択）

チャンネルごとにロー / ハイ・インピーダンス接続モードの選択ができます。スイッチを上げるとハイ・インピーダンス接続モードに、下げるとロー・インピーダンス接続モードに設定します。ハイ・インピーダンス接続モードのチャンネルには、35Hz のハイパス・フィルターが自動的に挿入されます。

MEMO

- ハイパス・フィルターは 70Hz に変更可能です。購入した販売店にお問い合わせください。

BRG. スイッチ（ブリッジモノモードの ON/OFF）

スイッチを上げるとブリッジモノモードが ON になり、前面パネルの BRIDGE インジケーターが点灯します。ブリッジモノモードに設定すると、Hi-Z スイッチ、アッテネーションは奇数番号のチャンネル（1、3、5、7）のみ有効になり、偶数番号のチャンネルは機能しません。

ATTENUATION（アッテネーション）

チャンネルごとにアッテネーションを備えています。21 段階、− 95dB（左に回しきり）〜 0dB の範囲で調整可能です。以下のつまみ位置と減衰量の表を参照してください。

つまみ位置	20	19	18	17	16	15	14	13	12	11	10
アッテネーション（dB）	95	90	42	32	27.5	24.5	22.5	20.5	19	17.5	16.5

つまみ位置	9	8	7	6	5	4	3	2	1	0
アッテネーション（dB）	15.5	14	12.5	11	9.5	8	6	3	0.1	0

▶ 待機時の消費電力を抑える（SLEEP モード）

SLEEP モードは、待機時の消費電力を 1W 以下に抑えるモードです。以下の方法で SLEEP モードが有効になります。SLEEP モード時は、前面パネルの POWER スイッチ LED 以外のインジケーターは消灯します。

AUTO STANDBY 機能を ON にする

グローバル設定 DIP スイッチの、POWER SAVE（スイッチ C）を ON にすると、AUTO STANDBY 機能が有効になり、３０分以上入力信号がない場合に自動的に SLEEP モードになります。− 40dBu 以上の入力信号を検知すると、通常動作に復帰します。復帰には４〜５秒を要します。

※ POWER スイッチを押すことでも、通常動作に復帰できます。

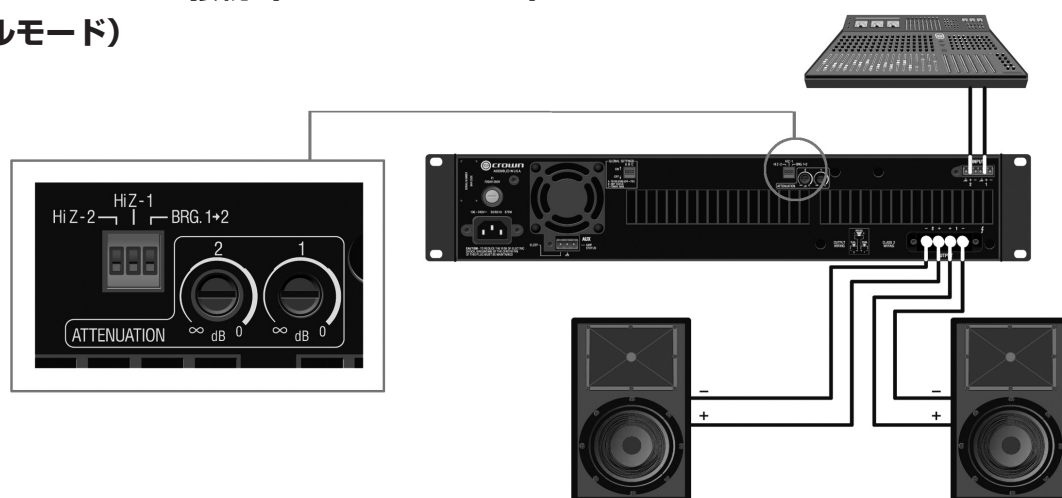
AUX 端子の外部接点により強制的に SLEEP モードにする

AUX 端子の左と中央のピンを外部接点で接続すると、即座に SLEEP モードになります。接続を解除すると通常の動作に復帰します。復帰には４〜５秒を要します。外部接点による SLEEP モード時は、前面パネルの POWER スイッチを押すと、POWER インジケーターが４秒間青色に点滅します。

■ 接続例

複数のスピーカーを１つのチャンネルに接続する場合、ロー・インピーダンス接続モードでは、インピーダンスの合計が本機の仕様の範囲内であることを確認してください。ハイ・インピーダンス接続モードでは、スピーカートランスの定格入力の合計値が本機の最大出力値以内であることを確認してください。

※接続例は、チャンネル１とチャンネル２のチャンネルペアについて記述していますが、その他のチャンネルペアについても同様です。

▶ ロー・インピーダンス接続（8 Ω、4 Ω、2 Ω）（デュアルモード）

チャンネル設定 DIP スイッチの Hi-Z スイッチは下、BRG. スイッチは下にしてください。

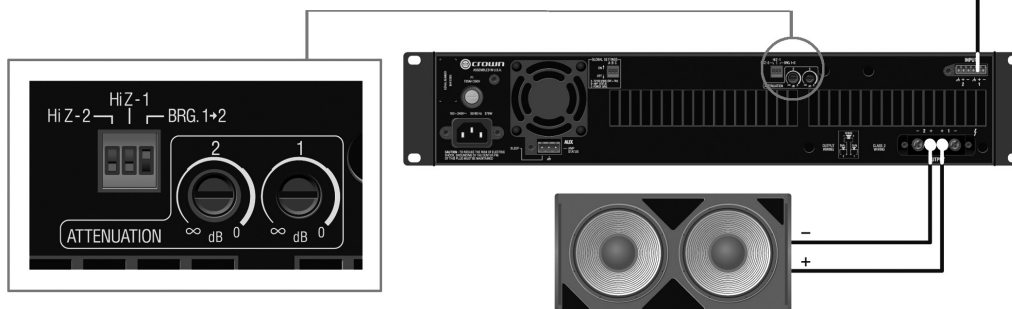
入力：

チャンネル１、チャンネル２にそれぞれ入力します。同じ信号をチャンネルペアで出力する場合（モノ）、信号はあらかじめ分配してから両方のチャンネルに入力してください。

適宜、チャンネルごとにアッテネーションの調整をしてください。

出力：

チャンネル１の [＋] ターミナルとスピーカーの [＋] を、[−] ターミナルとスピーカーの [−] を接続してください。チャンネル 2 もチャンネル１と同様に接続してください。

▶ ロー・インピーダンス接続（16 Ω、8 Ω、4 Ω）（ブリッジモノモード）

チャンネル設定 DIP スイッチの Hi-Z スイッチは下、BRG. スイッチは上にしてください。

MEMO

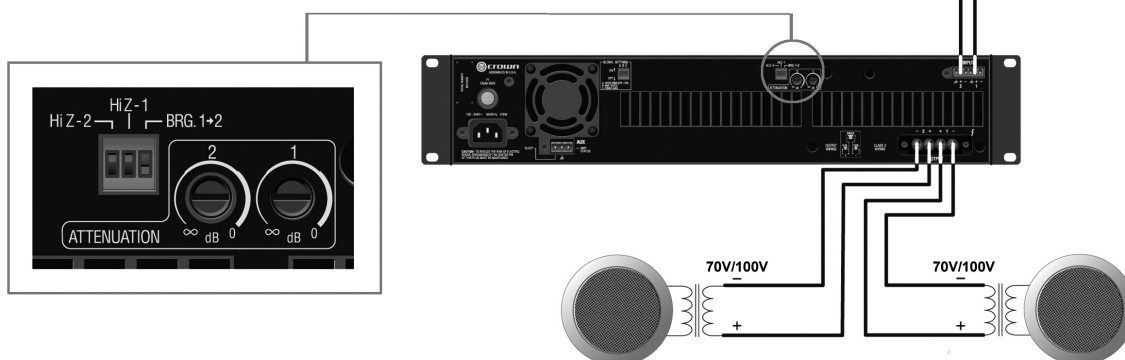
・ブリッジモノモードに設定したチャンネルペアの偶数番号のチャンネルでは、Hi-Z スイッチとアッテネーションは機能しません。

入力：

奇数番号のチャンネル（1、3、5、7）に接続し、適宜、アッテネーションの調整をしてください。ブリッジモノモードに設定したチャンネルペアの、偶数番号のチャンネルは使用できません。

出力：

チャンネル 1 の [＋] ターミナルとスピーカーの [＋] を、チャンネル2の [＋] ターミナルとスピーカーの [−] を接続してください。ブリッジモノモードのときに、出力端子の [−] ターミナルは使用しないでください。

▶ ハイ・インピーダンス接続（70V/100V）（デュアルモード）

チャンネル設定 DIP スイッチの Hi-Z スイッチは上、BRG. スイッチは下にしてください。ハイ･インピーダンス接続モードとロー・インピーダンス接続モードは、チャンネルごとに設定できます。ハイ・インピーダンス接続モードに設定したチャンネルには自動的に 35Hz のハイパス・フィルターが挿入されます。

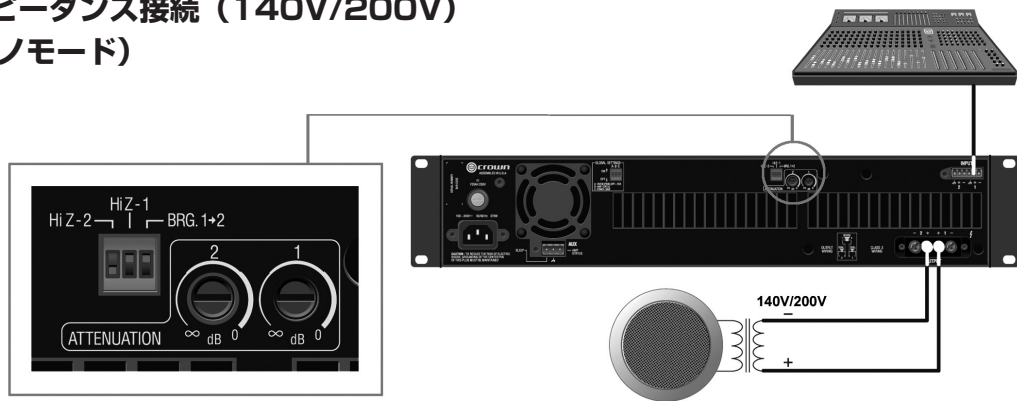
※出力電圧の選択（70V/100V）はグローバル設定 DIP スイッチの、スイッチ A で行ってください。

入力：

チャンネル 1 、チャンネル2にそれぞれ信号を入力します。同じ信号をチャンネルペアで出力する場合（モノ）、信号はあらかじめ分配してから両方のチャンネルに入力してください。適宜、チャンネルごとにアッテネーションの調整をしてください。

出力：

図のように接続してください。

▶ ハイ・インピーダンス接続（140V/200V）（ブリッジモノモード）

チャンネル設定DIPスイッチのHi-Zスイッチは上、BRG.スイッチは上にしてください。自動的に35Hzのハイパス･フィルターが挿入されます。チャンネルペアの偶数番号のチャンネルは使用しませんので、Hi-Zスイッチは下にしてください。

※出力電圧の選択（70V/100V）はグローバル設定 DIP スイッチの、スイッチ A で行ってください。

MEMO

- ブリッジモノモードに設定したチャンネルペアの偶数番号のチャンネルでは、Hi-Z スイッチとアッテネーションは機能しません。

入力：

奇数番号のチャンネル（1、3、5、7）に接続し、適宜、アッテネーションの調整をしてください。ブリッジモノモードに設定したチャンネルペアの、偶数番号のチャンネルは使用できません。

出力：

チャンネル 1 の [+] ターミナルをスピーカーの [+] へ、チャンネル2の[＋]ターミナルをスピーカーの[－]へ接続してください。ブリッジモノモードのときに、出力端子の [－] ターミナルは使用しないでください。

図の見方

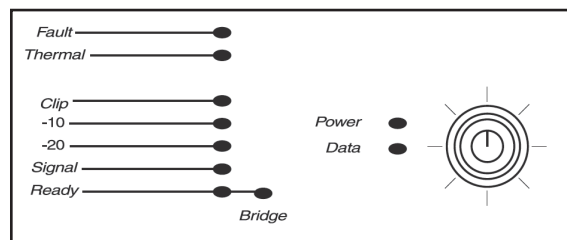
LEDの状態
- 消灯
- 点滅
- 状況による
- 点灯

■ トラブルシューティング

状態：POWER スイッチ周囲の POWER スイッチ LED が点灯し、POWER インジケーターは消灯している。

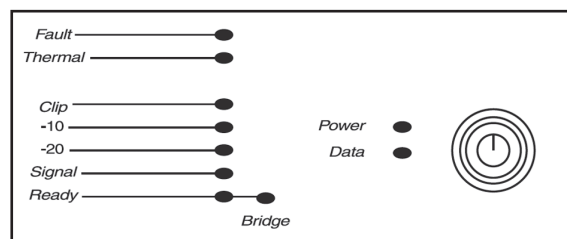
可能性のある原因：

・電源が OFF になっている。

・SLEEP モードになっている。

状態：POWER インジケーターおよび POWER スイッチ LED が消灯している。

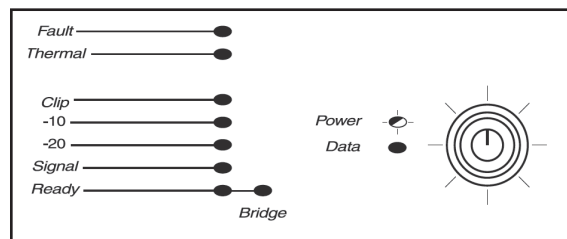
可能性のある原因：

・ヒューズが切れた、またはサーキットブレーカーが作動している。

・電源が供給されていない。

状態：POWER インジケーターが点滅している。

可能性のある原因：

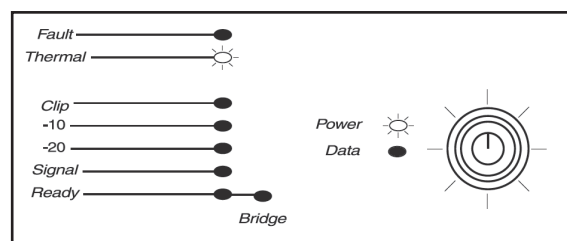
・電源電圧が通常の動作範囲から± 10%以上外れている。

・AUX 端子の外部接点で SLEEP モードにしている時に POWER スイッチを押した。

状態：THERMAL インジケーターが点灯している。

可能性のある原因：

・過熱状態にある。

＞以下を確認してください。

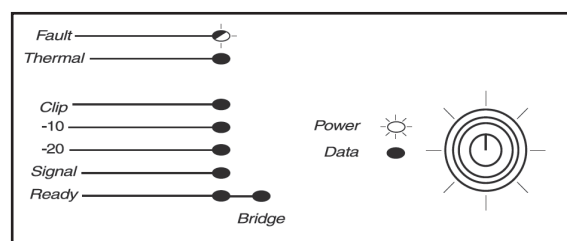
- 冷却のための空気の流れが適切か
- 負荷が 2 Ω未満で、過度な入力レベルになっていないか
- グローバル設定とチャンネル設定の DIP スイッチは正しく設定されているか

状態：FAULT インジケーターが点滅している。

可能性のある原因：

・内部の温度が 98℃を超えている。

・DC 保護回路が作動している。

・高周波が検知された。

・出力部でショートが発生している。

<u>状態：音が歪む。</u>

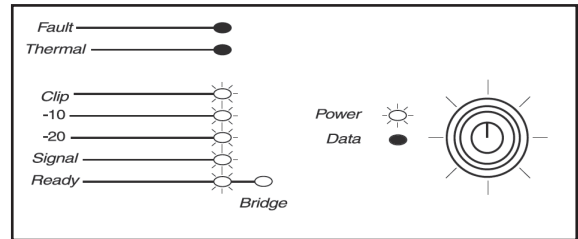
可能性のある原因：

・出力の接続に誤りがある。

・ステレオ / ブリッジモノモードの設定に誤りがある。

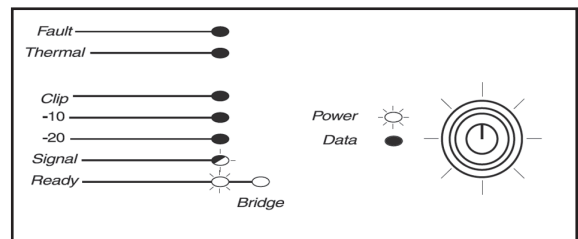
・入力信号のレベルが高すぎる。

MEMO

・音が歪んでいるのに CLIP インジケーターが点灯しない場合は、本機に到達する前段で入力信号が歪んでいる可能性があります。ミキサーやプリアンプのゲインや出力レベルを確認してください。

<u>状態：アンプの電源が入っている（POWER インジケーターが点灯し、SIGNAL インジケーターが点滅している）が、音が出ない。</u>

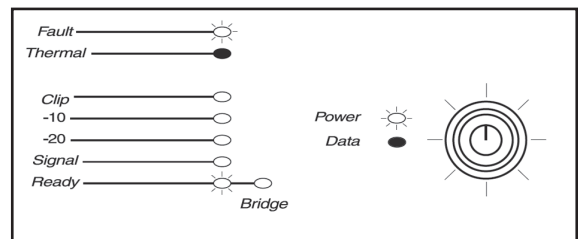
可能性のある原因：

・スピーカーが接続されていない。

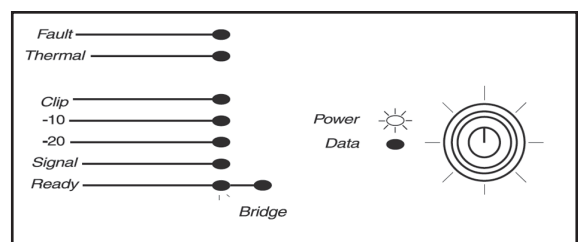
・スピーカーが故障している。

<u>状態：FAULT インジケーターが点灯、CLIP/-10/-20/SIGNAL インジケーターが点滅している。</u>

可能性のある原因：

・出力部でショートが発生している。

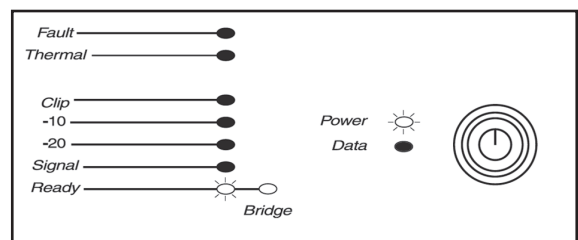
＞問題のある出力からスピーカーを外し、ひとつずつ負荷がショートしているかを確認してください。

<u>状態：READY インジケーターが消灯している。</u>

可能性のある原因：

・AUTO STANDBY 機能、または AUX 端子の外部接点で SLEEP モードになっている。

<u>状態：入力信号が検知されない（READY インジケーターが点灯しているが、SIGNAL インジケーターが点灯していない）。</u>

可能性のある原因：

Fault
Thermal
Clip
-10
-20
Signal
Ready
Bridge
Power
Data

・入力信号のレベルが低すぎる。

■ 仕様

		DCi 2|300	DCi 2|600	DCi 2|1250	DCi 4|300	DCi 4|600	DCi 4|1250	DCi 8|300	DCi 8|600
チャンネル数		2	2	2	4	4	4	8	8
チャンネル出力（20Hz～20kHz）	2 Ω	150W × 2	300W × 2	1,250W × 2	150W × 4	300W × 4	1,250W × 4	150W × 8	300W × 8
	4 Ω	300W × 2	600W × 2	1,250W × 2	300W × 4	600W × 4	1,250W × 4	300W × 8	600W × 8
	8 Ω	300W × 2	600W × 2	1,250W × 2	300W × 4	600W × 4	1,250W × 4	300W × 8	600W × 8
	16 Ω	150W × 2	300W × 2	625W × 2	150W × 4	300W × 4	625W × 4	150W × 8	300W × 8
	70V	300W × 2	600W × 2	1,250W × 2	300W × 4	600W × 4	1,250W × 4	300W × 8	600W × 8
	100V	300W × 2	600W × 2	1,250W × 2	300W × 4	600W × 4	1,250W × 4	300W × 8	600W × 8
ブリッジモノ出力（20Hz～20kHz）	4 Ω	300W	600W	2,500W	300W × 2	600W × 2	2,500W × 2	300W × 4	600W × 4
	8 Ω	600W	1200W	2,500W	600W × 2	1,200W × 2	2,500W × 2	600W × 4	1,200W × 4
	16 Ω	600W	1200W	2,500W	600W × 2	1,200W × 2	2,500W × 2	600W × 4	1,200W × 4
	140V	600W	1200W	2,500W	600W × 2	1,200W × 2	2,500W × 2	600W × 4	1,200W × 4
	200V	600W	1200W	2,500W	600W × 2	1,200W × 2	2,500W × 2	600W × 4	1,200W × 4
周波数特性（20Hz～20kHz、8 Ω）		± 0.25dB							
SN 比（20Hz～20kHz、8 Ω）		108dB 以上							
THD（20Hz～20kHz）		0.35% 以下							
IMD（60Hz、7kHz、4:1）		0.35% 以下							
ダンピングファクター（20Hz～100Hz）		1,000 以上							
アナログ入力	インピーダンス	10k Ω（バランス）、5k Ω（アンバランス）							
	感度（8 Ω）	1.0V	1.4V	2.0V	1.0V	1.4V	2.0V	1.0V	1.4V
	感度（70V/100V）	1.4V（70V）、2.0V（100V）							
	最大レベル	+20dBu							
出力コネクター		ねじ止め端子							
インジケーター		Ready、Signal、－ 20、－ 10、Clip、Thermal、Fault、Bridge、Power、(Data)							
電源		AC100 V、50/60Hz							
消費電力	1/8出力、ピンクノイズ、4Ω	170W	250W	430W	290W	490W	950W	610W	1,100W
	電気用品安全法による(4Ω)	330W	530W	1,450W	690W	1,100W	2,000W	1,400W	2,200W
	SLEEP モード時	1.0W							
寸法（W ×H×D）		482 × 88 × 370mm（除突起部）					482×88×440mm（除突起部）	482 × 88 × 370mm（除突起部）	482×88×440mm（除突起部）
質量		8.6kg		9.2kg	9.1kg		13kg	11kg	13kg

※ DCi 4|1250、DCi 8|600 には C 型コネクターの電源ケーブルが付属しています。

http://www.hibino.co.jp/
E-mail: proaudiosales@hibino.co.jp

ヒビノ株式会社　ヒビノプロオーディオセールス Div.

営業部
〒108-0075 東京都港区港南3-5-12
TEL: 03-5783-3110　FAX: 03-5783-3111

大阪ブランチ
〒564-0051 大阪府吹田市豊津町18-8
TEL: 06-6339-3890　FAX: 06-6339-3891

福岡ブランチ
〒812-0041 福岡県福岡市博多区吉塚4-14-6
TEL: 092-611-5500　FAX: 092-611-5509

札幌オフィス
〒063-0813 北海道札幌市西区琴似三条1-1-20
TEL: 011-640-6770　FAX: 011-640-6776

名古屋オフィス
〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南3-4-26
TEL: 052-589-2712　FAX: 052-589-2719